

2022年10月5日  
J.D. パワー ジャパン

## J.D. パワー 2022 年 日本自動車商品魅力度調査<sup>SM</sup>

～ホンダ、トヨタモデルがそれぞれ2セグメントで評価首位～

CS（顧客満足度）に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社 J.D. パワー ジャパン（本社：東京都港区、代表取締役社長：山本浩二、略称：J.D. パワー）は、**J.D. パワー 2022 年 日本自動車商品魅力度（Automotive Performance, Execution and Layout、略称 APEAL）調査<sup>SM</sup>**の結果を発表した。自動車の商品魅力を捉える本調査は新車購入者を対象に年1回実施され、今回で12回目となる。本調査は2021年に調査内容を刷新し、新調査項目で2回目の実施となる。

### 商品魅力度の業界水準は向上、ミニバンやSUVの評価向上が牽引

商品魅力度の指標となる APEAL インデックスの業界平均は 664 ポイントで、2021 年に比べ 7 ポイント向上した。ミニバン（663 ポイント／前年比+11 ポイント、コンパクトミニバンを含む）や SUV（693 ポイント／前年比+9 ポイント）の評価向上が寄与している。

セグメント別ランキングでは、ホンダ、トヨタのモデルが各2セグメントで1位、ダイハツ、メルセデス・ベンツ、日産、フォルクスワーゲンのモデルが各1セグメントで1位となった。

### 機能・装備の充実化は商品魅力度向上に寄与、しかし利用時の不具合は魅力度低下を招く

運転支援装備やインフォテインメント関連機能・装備の充実化は商品魅力度評価向上の要因の一つである。しかしながら、その品質によっては、商品魅力度の低下につながることも明らかになった。

例えば Android Auto/Apple CarPlay 機能が備わった車のインフォテインメント評価は 654 ポイントで、この機能が備わっていない車両（609 ポイント）に比べ+45 ポイントも上回る。しかし、Android Auto/Apple CarPlay 機能の利用中に何らかの不具合を経験している場合、インフォテインメント評価は 590 ポイントまで下がり、この機能が備わっていない車の評価を下回る水準である。機能・装備の充実化だけでなく、その品質が消費者の期待を十分に満たしていることが重要といえる。

### 燃油価格高騰にも関わらず、燃費／航続距離評価の業界平均は向上

燃費／航続距離評価の業界平均は 641 ポイントで、前年比+10 ポイントとなった。具体的には、ガソリン／ハイブリッド登録車やディーゼル登録車の評価が向上した。燃油価格高騰が続く中、エンジンダウンサイジング車や相対的に燃料費が安いディーゼル車の燃費／航続距離評価が改めて見直されている結果と言える。

一方、軽自動車やプラグインハイブリッド登録車の評価は、横ばいか前年を下回る評価となった。特に、軽自動車の燃費／航続距離評価の平均は 620 ポイントで、ガソリン／ハイブリッド登録車の平均 647 ポイントを下回る。燃料消費の経済性が軽自動車の強みとは必ずしも言えない状況である。

## J.D. パワー 2022 年 日本自動車商品魅力度調査<sup>SM</sup>、各部門の No.1 を発表

### 【ブランドランキング】

総合第1位：	レクサス
マスマーケット第1位：	MINI

### 【セグメントアワード】

軽ハイトワゴン第1位：	ホンダ N-ONE
軽スーパーハイトワゴン第1位：	ホンダ N-BOX
コンパクト第1位：	日産 ノート
コンパクト SUV 第1位：	フォルクスワーゲン T-Cross
ミッドサイズ第1位：	メルセデス・ベンツ A クラス
ミッドサイズ SUV 第1位：	トヨタ ハリアー
コンパクトミニバン第1位：	ダイハツ トール
ミニバン第1位：	トヨタ アルファード

### 《J.D. パワー 2022 年 日本自動車商品魅力度調査<sup>SM</sup> 概要》

年に一回、新車購入後 2～13 ヶ月経過したユーザーを対象に、所有する自動車の商品魅力について 10 カテゴリー 37 項目の評価を聴取。回答結果を元に 1,000 ポイント満点で商品魅力度スコアを算出。

今年で 12 回目の実施となる。

10 カテゴリーは以下の通り：

「外観」、「車両設定／始動」、「乗降性」、「内装」、「パワートレイン」、「ドライビングフィール」、「安全性」、「インフォテインメント」、「快適性」、「燃費／航続距離」

■実施期間：2022 年 5 月～6 月

■調査対象：新車購入後 2～13 ヶ月経過したユーザー（18 歳以上）

■調査方法：インターネット調査

■調査回答者数：20,797

\*J.D. パワーが調査結果を公表する全ての調査は、J.D. パワーが第三者機関として自主企画し実施したものです。

【ご注意】本紙は報道用資料です。弊社の許可なく本資料に掲載されている情報や結果を広告や販促活動に転用することを禁じます。

### 《本リリースに関するお問い合わせ》

株式会社 J.D. Power Japan

メディア関係者様お問い合わせ：北見（コーポレート コミュニケーション）

Tel：03-6809-2996 E-mail：release@jdpa.com

調査レポート購読等お問い合わせ：佐々木（リサーチ部門）

Tel：03-6809-2987 E-mail：yuji.sasaki@jdpa.com

J.D. パワーについて：

J.D. パワー（本社：米国ミシガン州トロイ）は消費者のインサイト、アドバイザリーサービス、データ分析における国際的なマーケティングリサーチカンパニーです。50 年以上にわたり、ビッグデータや AI、アルゴリズムモデリング機能を駆使し、消費者行動を捉え、世界を牽引する企業に、ブランドや製品との顧客の相互作用に関する鋭い業界インテリジェンスを提供するパイオニアです。

J.D. パワーでは、本調査以外にも、毎年複数の自動車関連調査の結果をリリースとして発表しています。

～2022年 J.D. パワー 自動車関連調査発表スケジュール～

日本自動車セールス満足度調査 SSI（8月）

日本自動車サービス満足度調査 CSI（8月）

日本自動車初期品質調査 IQS（9月）

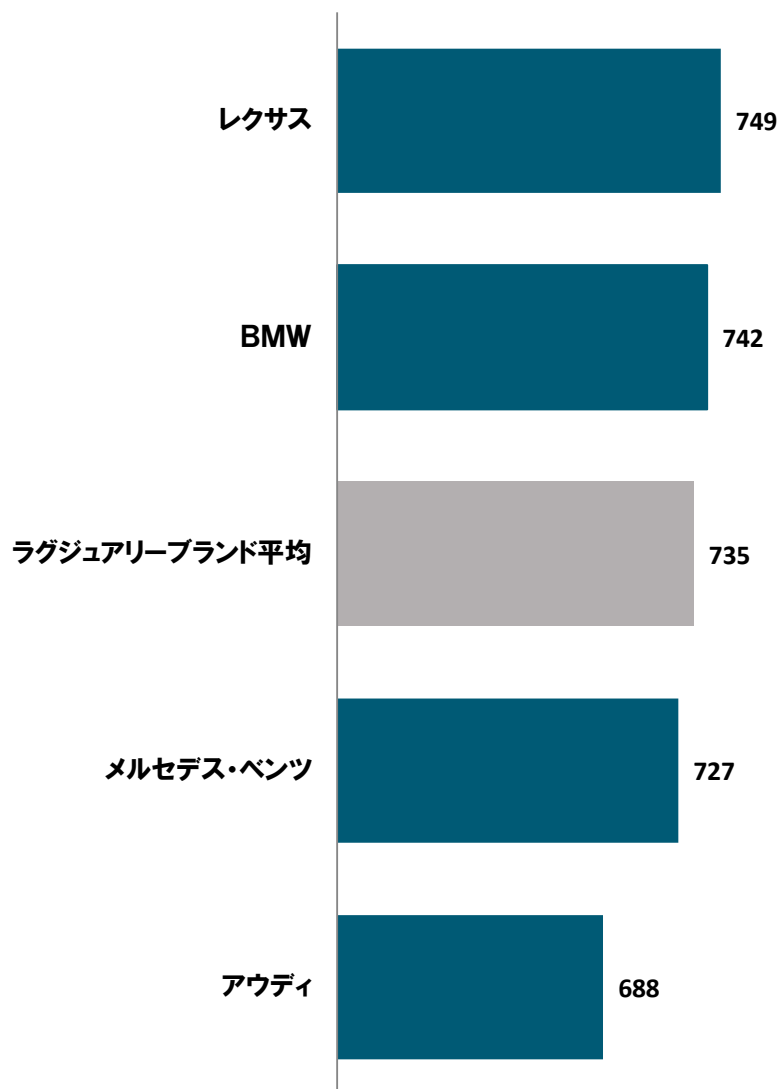
日本自動車商品魅力度調査 APEAL（10月）

日本自動車テクノロジーエクスペリエンス調査 TXI（11月）

# J.D. パワー 2022年日本自動車商品魅力度(APEAL)調査<sup>SM</sup>

## ブランド別ランキング (1,000ポイント満点)

### 【ラグジュアリーブランド】



注) 回答者数等の諸条件が弊社規定条件を満たしたブランド/セグメントのみ公表対象としています。

出典: J.D. パワー 2022年日本自動車商品魅力度(APEAL)調査<sup>SM</sup>

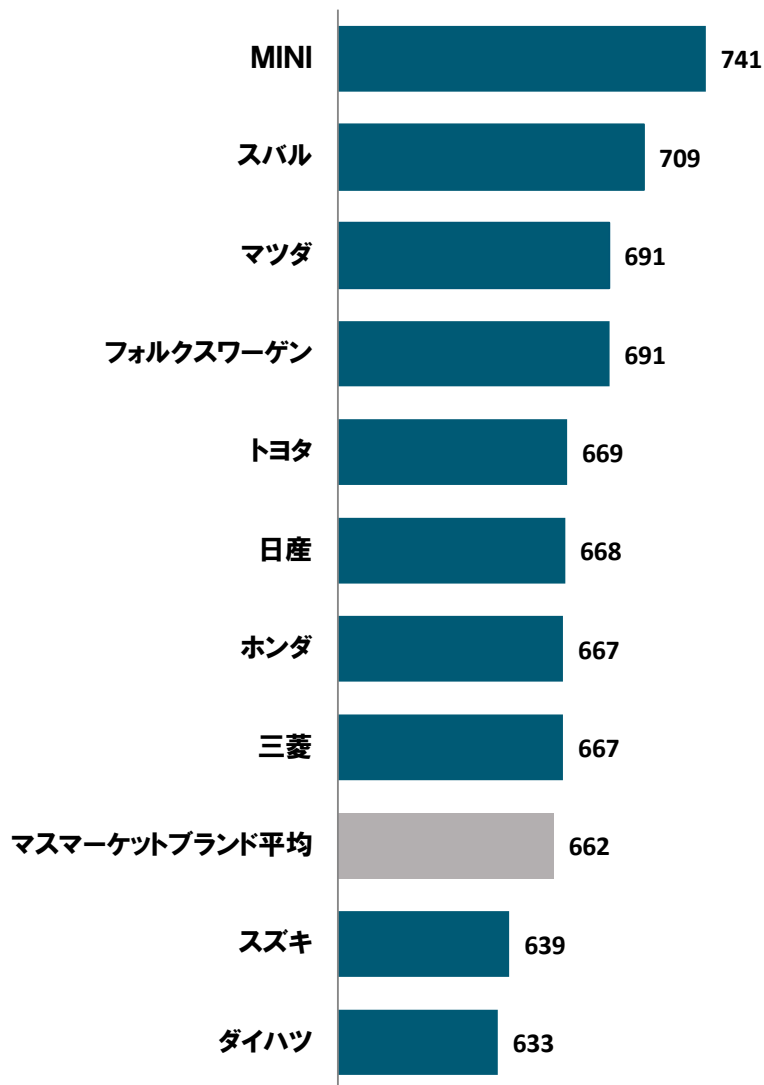
本紙は報道用資料です。J.D. パワーの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告および販促活動に転用することを禁止します。

報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、上記出典を明記して下さい。

# J.D. パワー 2022年日本自動車商品魅力度(APEAL)調査<sup>SM</sup>

## ブランド別ランキング (1,000ポイント満点)

### 【マスマーケットブランド】



注) 同点の場合は英文表記アルファベット順にて掲載しています。  
回答者数等の諸条件が弊社規定条件を満たしたブランド/セグメントのみ公表対象としています。

出典: J.D. パワー 2022年日本自動車商品魅力度(APEAL)調査<sup>SM</sup>

本紙は報道用資料です。J.D. パワーの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告および販促活動に転用することを禁止します。  
報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、上記出典を明記して下さい。

